

若年者職業能力開発訓練の実施状況紹介

ビジネス情報システム科(Webコース)6 ヶ月コース事例

四国ポリテクカレッジ 生産情報システム技術科
(四国職業能力開発大学校)

稲益悦夫・奥田佳史・小林重規
田村俊治・水田善朗

1. コース概要

公共職業安定所へ求職申し込みをしている30歳未満の方(以下、若年訓練生)を対象に、Webエンジニアに関する6ヶ月訓練を実施したので、その概要を報告する。

訓練名称はビジネス情報システム科(Webコース)とし、6ヶ月間の訓練となる。訓練内容は、

コンピュータ基礎、ビジネスアプリケーション活用、データベースアプリケーション活用、インターネット/ Web技術、Webサイト構築技術、Webサイト運用管理技術

の6項目からなり、Web技術を中心とした周辺技術を含む訓練体系として募集を行った。

訓練受講者人数

14名

募集期間

平成15年5月6日～5月16日

実施期間

入校式 平成15年6月3日

訓練期間

平成15年6月4日～平成15年11月18日

修了式 平成15年11月19日

2. 訓練時間配分

6ヶ月間における訓練時間の配分を各段階での目的に応じて、以下の3ステップに分割した。

ステップ1 基礎能力養成期間 2ヶ月間

ステップ2 専門能力向上期間 3ヶ月間

ステップ3 応用力養成実践期間

1ヶ月間の修了課題の開発・発表
次に各ステップの概要を示す。

2.1 ステップ1

基礎能力養成の訓練期間として、2ヶ月間を割り当てた。若年訓練生の過去の職務における技術的背景が大きく異なり、専門知識の吸収力に差があることから、この期間において、その差異を吸収するとともに次の専門能力向上のステップにスムーズに移行できることを主な目的として、ステップ1を設定した。ステップ1における訓練項目を以下に列挙する。

Windows2000の操作と環境設定

Word, Excel, Access, PowerPoint活用

ホームページビルダーによるHP作成

HTMLタグの理解

2.2 ステップ2

ステップ2では専門能力向上の訓練期間として3ヶ月間を割り当てた。すでに訓練生は基礎能力の習得を完了しており、基礎知識が揃った時期であり、Web関連技術に必要な技術的・専門的訓練を集中して実施することが可能になっている。

ステップ2においては、以下の学習項目を実施した。

Linuxネットワーク構築

・TCP/IP, ルーティング

・WWWサーバ, POPサーバ, SMTPサーバ, DNSサーバ等の環境設定と運用管理

Windows2000ネットワーク構築

- ・Linuxネットワーク構築と同一内容をWindows環境で実施
ドキュメント仕様の理解
- ・HTML, XML, CSSの習得
サーバサイドスクリプト
- ・Servlet, Perl, ASPのプログラミング技法
クライアントサイドスクリプト
- ・JavaScript
データベースとの連携とSQL操作
- ・Microsoft SQL Server

2.3 ステップ3

ステップ2までに習得した知識は自ら開発に実際使用することによって身に付くと考えられることから、1ヵ月間の開発期間を設け、訓練生の自発的テーマに基づいたテーマに沿って開発を行った。ステップ3の最終日には、訓練生の修了課題について発表会を行う。関連企業に発表会案内書を送付し、訓練成果の外部公開の場とした。

以下に訓練生の取り組んだ開発テーマ一覧を示す。

最終発表会テーマ一覧

1. 献立付き食材宅配注文サイト
2. ホテル宿泊予約サイト
3. CAD - Napier (WEBサイトでの図面の受発注等)
4. 映画グッズのネット販売
5. 全日型ダイニングバー&ショップの新しい形の提案型サイトの構築
6. 株式会社 Wind ei (ウィンドエイ) 会社案内サイト
7. お手軽レシピ紹介サイト
8. ウェディングブーケの紹介&販売のサイト
9. とってもかんたんスケジュール
10. 古書Online検索サイト
11. cafe関係の通販, 検索サイト
12. 国内・海外フィギュアのサイト
13. ゲームソフトメーカーサイト
14. 個人ポータルサイト「Kuu!」の構築

3. 訓練終了後の訓練生アンケート結果

訓練終了後のアンケート調査により、以下の意見

が述べられた。肯定的評価と否定的評価に分けてそれぞれの意見を列挙する。

肯定的評価

要素技術の全体における位置づけおよび関連が明確になった。

訓練内容は9割が初めての内容だったが、自分としては十分に習得できた。

初心者と変わらない状況での訓練開始なので、最初の基礎訓練は役だった。

パソコンに対する興味が一層増した。

情報処理資格取得に必要な受験知識を得ることができた。

知識の幅が広がった。

これに対して、以下のような否定的評価もみられた。

否定的評価

多くのスクリプトを学んだが、どれも難しく理解が不十分のままであった。

もう少し深い部分を学習したかった。

2ヵ月の基礎はもう少し少なくともよいのではないか。

全体として訓練生はおおむね訓練内容に満足したと考えられるが、訓練レベル設定の難しさの一端を示す結果となった。

4. 修了課題発表事例

訓練期間を通して熱心に取り組んだ訓練生の修了課題発表会予稿を代表事例として次ページに示す。当該テーマは発表会において出席企業に商品化レベルに到達しているとして評価されたものである。就職先においてはWebサイトのデザイン, Web開発者との折衝等, その能力が評価されている。

5. まとめ

当初予定していた訓練レベルはほぼ達成できたと考えられる。今後6ヵ月間の訓練成果を最大限発揮するためには、各ステップにおける時間配分および適切な訓練レベル設定が最重要と考えられ、今後の改良点としたい。

Web 6 ヶ月コース修了課題発表会 予稿事例 個人ポータルサイト「Kuu！」の構築

1. Webサイトの概要

【ジャンル】

ポータルサイト

【コンセプト】

「Yahoo! Japan」に代表されるような主に検索エンジンサイトで設置されている「個人ポータルサイト」をベースに、ビジュアル面の改良とユーザビリティの向上の2点を重点に置いた個人ポータルサイトを構築した。

2. 作成&動作環境・使用ツール、活用した技術等

作成&動作環境について

OS : Windows2000 Professional (ServicePack 4)

httpd : IIS 5.0

DB : SQLServer7.0 (ServicePack 4)

メールサーバ : BlackJumboDog ver 3.3.5

<http://homepage2.nifty.com/spw/software/bjd/>

追加コンポーネント : BASP21

<http://www.hi-ho.ne.jp/babaq/basp21.html>

(webメール機能での受信処理に使用)

ブラウザ : Internet Explorer 6 ServicePack 1

ホームページ作成関連ツール

Dreamweaver & Fireworks Studio 4

TeraPad ver 0.81d

Webサイト構築技術

- ActiveServerPage (VBScript/JavaScript)
(サイトの各機能の処理プログラムとして使用)
VBScriptをメインに、フレーム間での画面遷移などの、VBScriptでは難しい表示処理関連についてはJavaScriptを使用
- SQL
(主に利用するユーザデータの操作に使用)
ユーザ情報・ログイン情報・各機能で必要な情報をデータベース (今回はSQLServerを使用) に登録しており、状況に応じて追加・更新・削

除を行っている。

• CSS

(ビジュアル面およびユーザビリティの向上に使用)

入力フォームやテーブル・スクロールバーなど操作の向上とサイト全体に統一感を出した。

トップページ



3. 内容・特記事項等

特別多機能、または複雑なものを作成したわけではないが、時間の許す限りサイトコンセプトに忠実なページ作りと更新作業をしやすいよう、ほかの人が見てもわかりやすいプログラムソースとHTML等の記述を心掛けた。

普段何気なく利用しているサイトのシステムについて、ここで学んだ知識と技術を生かすことでその仕組みを理解し、またそれに近いものが作れたことは私にとって大きな収穫となった。

サイト構成

当サイトは1ページをフレームによってナビゲーション画面 (上部) と内容を表示する画面 (下部) の2画面に分割している。

当サイトの利用は、主に画面上部のボタンアイコンナビゲーション画面を利用して行う。

ボタンアイコンナビゲーションにした理由は、サイトのコンセプトに基づき見た目にわかりやすいことと操作面の向上という2点から採用した。

どちらかといえば、ホームページというよりは1つのWebアプリといえる作りになっている。

ログイン中・メイン画面



ログインすると上の画面のように画面上部のボタンアイコンナビゲーション画面が変わり、グループウェアソフト等にあるようなメニューが現れる。

このメニューより各機能を利用することができる。

当ポータルサイトの機能には

- ・webメール受信
- ・簡易スケジュール
- ・検索
- ・ブックマーク管理

などの一般的な機能に加え、背景や文字色などの表示に関する項目の変更も行うことができる。

以下主な機能について説明する。

Webメール受信画面

右上の画面は個人ポータルサイトの中で最も利用価値の高いWebメール機能である。

メール受信処理には、「BASP21」というASPでの



開発においては有用な外部コンポーネントを使用した。

なおこの学校内でのメールの送受信には制約が設けられていたため、作成時に「Black Jumbo Dog」という、メールサーバを簡単に構築することができるソフトを利用して環境を構築した。

それでも使用状況が限定されるため、従来あるWebメール機能を実装することは(外部への送信機能など)残念ながらできなかった。

後は受信したメール情報を見やすいよう加工し、ブラウザ上に表示させた。

簡易スケジュール画面



前ページ右下の画面は簡易スケジュール機能で、「カレンダー+スケジュール」という形で作成した。

当日は違う色でわかりやすいように表示し、スケジュールを登録してある日はアイコンを表示、そこにマウスカーソルを置くと登録した件名が表示されるようになっている。

そしてそのアイコンを選択すると、登録した内容を見ることができる仕組みである。

時間があれば登録した日にメール配信させる機能や時系列のスケジュール機能にさせたかったが、今回は間に合わなかった。

4.まとめ

【自己評価】

今回は1人でサイト内のすべてのページとプログラムの作成となったため、1カ月の期間では詳細部分の作りこみをすることができなかった。

また、機能もいくつか削減しなければ期間内に間に合わせることはできなかった。

プログラムの作成については特に問題なかったが、1ページとして、また1サイトとして表示・完成させる部分において、Webサイト作成の経験が乏しい私は、その部分で非常に苦労した。

その部分に関してはクラス内のほかの人が作成しているサイトや、また数多くのWebサイト・デザイ

ン関連のページを参考にさせていただいた。

【今後の課題】

今回は作成環境上の理由から対応するブラウザがInternet Explorerのみとなっているため、Netscape、Operaなどのほかのブラウザでも対応できるように作成環境を変更し改めて作りなおしたいと思う。

その際には当初搭載予定だった機能や、今ある機能に付加部分を付け加えたり、ビジュアル面においてさらなる強化を図りたいと思う。

そしてインターネット接続できる環境さえあればどこでも利用できる個人ポータルサイトとして、多くの方に使っていただけるものにしたいと考えている。

【講習を終えての感想】

これまでソフト作成およびプログラムの作成に関しては、今までしてきた仕事を通じてその知識や技術を習得していたが、Webに関する知識や技術は趣味の範囲内でしか持っていなかった。

しかし、ここで6カ月間Webに関する知識や技術を学び、それらを活用することができる基礎部分（いわゆる土台）を作ることができた。

これは今後の自分にとって非常に大きい財産になると思う。

今後はこれらの知識や技術を生かして次の仕事に役だてたいと思う。

